



21世紀へ向って—近畿の明日を創る

近畿は有史以来我が国の文化、産業の中心であり、学問、芸術、思想、宗教など高度に洗練された文化が現在もお豊かな遺産として継承されています。しかしながら世界的な経済社会活動の低迷、国内的財政状況の悪化など我が国は内外環境の変化に直面し、経済社会の各面で大きな転換期を迎えています。特に中枢管理機構の東京への集中、工業生産の全国に対する比重の低下、人口増加率の鈍化など諸調査統計に近畿の地盤沈下がはっきりと表れております。

建設業界としてその例外は免れず、非常に厳しい環境下であらゆる努力を傾注して難局に対処しつつ、経済の発展と豊かな国づくりを目指しています。幸い関西国際空港株式会社も設立され、新空港建設も長い経過を経て、いよいよ建設の段階になりました。

また新空港に次ぐビッグプロジェクトとして京阪奈文化学術研究都市構想も、産・官・学界の代表による協議会で、具体化し国土庁を中心に諸調査も進み近く着工の運びとなりました。更に国土庁においては新しい近畿の創生計画(すばるプラン)によって、近畿圏を対象にした21世紀を展望する長期計画づくりが進められています。

このような大プロジェクトの具体化に一縷の曙光を見出すことができ、その建設に当たっては世界に冠たる我が土木施工技術を發揮し、国民の期待に応える所存であります。今後とも各方面のご指導とご支援をお願いいたします。

昭和59年9月

社団法人
日本土木工業協会関西支部